

平成25年2月19日
J R 北 海 道

鉄道高架からのコンクリート片の落下について

1 概 況

本日（2/19）12時25分頃、千歳線 長都～千歳駅間の高架橋からコンクリートらしきものが落ちており、一般の通行人より千歳駅へ連絡がありました。

現地に社員が行き点検を行ったところ、高架橋の一箇所から剥がれ落ちたと思われるコンクリート片を発見しました。

なお、この落下物によるけが人はいません。

[住 所] 千歳市北光1丁目
千歳線 千歳駅～長都駅間の鉄道高架下
高さ 約4.8m

[落 下 物] コンクリート片の大きさ
約90cm X 約50cm X 約7cm : 重さ（推定） 約20kg

2 原 因

当該橋りょう施工時に、何らかの理由により異物が入った状態でコンクリートを打設したことにより、不均一な状態の中、水の凍結融解により亀裂が進行し、剥落に至ったと推定します。

3 緊急点検の実施

緊急点検として、千歳高架全区間の目視および打音検査を実施し、明日（2/20）朝までに終了する予定です。

4 その他

- ・当該橋りょうは昭和53年7月から昭和54年4月にかけて建設されました。
- ・当該橋りょうの名称は東9線架道橋です。
- ・剥落したコンクリート片は最大で約26cm×約23cm×約7cmです。
- ・当該橋りょうの直近の検査は平成24年9月5日に実施し、異常はありませんでした。

